

◆2025年度東北芸術工科大学寄附講座等一覧

No.	講座名	設置組織	寄附者	期間	概要等
1	生活の中の経済学:クラス11	全学部 全学科	イオンフィナンシャルサービス株式会社	2025.4.10～2025.7.17	現代社会では、金融とのかかわりをもつことは避けられません。本講義ではみなさんが経済的に自立し、より良い生活を送るために必要な「金融リテラシー力（経済や金融についての知識と判断力）」を身に付けることを目的とします。
2	生活の中の経済学:クラス12	全学部 全学科	イオンフィナンシャルサービス株式会社	2025.4.11～ 2025.7.18	現代社会では、金融とのかかわりをもつことは避けられません。本講義ではみなさんが経済的に自立し、より良い生活を送るために必要な「金融リテラシー力（経済や金融についての知識と判断力）」を身に付けることを目的とします。
3	生活の中の経済学:クラス51	全学部 全学科	イオンフィナンシャルサービス株式会社	2025.10.2～2026.1.15	現代社会では、金融とのかかわりをもつことは避けられません。本講義ではみなさんが経済的に自立し、より良い生活を送るために必要な「金融リテラシー力（経済や金融についての知識と判断力）」を身に付けることを目的とします。
4	生活の中の経済学:クラス52	全学部 全学科	イオンフィナンシャルサービス株式会社	2025.10.3～2026.1.16	現代社会では、金融とのかかわりをもつことは避けられません。本講義ではみなさんが経済的に自立し、より良い生活を送るために必要な「金融リテラシー力（経済や金融についての知識と判断力）」を身に付けることを目的とします。
5	表現伝達演習 2	デザイン工学部 プロダクトデザイン学科	株式会社ハッピージャパン	2025.4.10 2025.5.29 2025.6.5 2025.7.17	この科目では、プロダクトデザインを第三者に伝達するために必要な図示や3DCADによる造形などの表現方法を身につけます。デザイン思考を応用する力を習得します。
6	サステナブルデザイン演習	デザイン工学部 企画構想学科	株式会社フォーバル	2025.10.1～2026.1.15	国家戦略であるデジタル田園都市国家構想等の主たる手段となるデジタルトランスフォーメーション（以下、DX）をマーケット（社会）で推進できる人材創出のための基礎知識とその事例について学修・理解することを目的とします。
7	プロダクトデザイン演習 5:クラス13	デザイン工学部 プロダクトデザイン学科	東北バイオニア株式会社	2025.4.9～ 2025.7.24	製品と人を橋渡しするためのインタフェース・デザインについて、産学連携を通して企業とともに授業課題に取り組み社会に向けた実践的なデザインプロセスを体得します。
8	ビジュアルデザイン実践1	デザイン工学部 グラフィックデザイン学科	株式会社竹尾	2025.6.10	数多くのサンプルを実際に触りながら、さまざまなファインペーパーの特徴や基本的な紙の知識を学ぶ。また、紙への理解と関心を深め、作品制作時の紙選びの意識を高める。
9	コミュニケーションデザイン基礎1A	デザイン工学部 グラフィックデザイン学科	株式会社モリサワ	2025.4.9	文字を通して「感覚」を「視覚」に置き換えるという、グラフィックデザインの基本作法を学ぶ。人間の五感、身体感覚による体験を視覚表現に置き換えながら、他者との感覚共有に視覚情報がどのように作用するのかを体験し、「感覚的イメージを視覚的に伝える」ことを学ぶ。

10	コミュニケーションデザイン基礎1A	デザイン工学部 グラフィックデザイン学科	パニーコルアート株式会社	2025.4.23	リキテックス講習会を通じて様々な画材を知り発見しながら、非言語である「色」の意味を学び、自分と他者の理解するコミュニケーションに活かす。
11	美術素材学	芸術学部 美術科洋画コース	ホルベイン画材株式会社	2025.11.20	ホルベイン研究者による専門的なレクチャー。顔料や溶き油などの素材や油絵の具と作品保存について解説していただき、素材と技法を複合的に組み合わせる考えられる知識の素地を学ぶ。
12	ツーリズムビジネス入門、ツーリズム＆ホスピタリティ入門、ツーリズム＆ホスピタリティ実践	デザイン工学部 企画構想学科	東日本旅客鉄道株式会社	2025.9.30～2026.1.13	観光は目的ではなく手段であることを理解し、世界視座での地域課題解決や資源活用による「持続可能な観光地域づくり」とは何かについて見通し、解決できる力を養う。
13	美術素材学	芸術学部 美術科洋画コース	ターナー色彩株式会社	2025.12.11	アクリル絵具の特性について講義を行います。アクリルメディウムをはじめとするさまざまなメディウムを実際に使用しながら、それぞれのテクスチャーの特徴や、色材と混合した際に生まれるマティエールについて理解を深めていきます。講義と実習を通じて、メディウムの表現における可能性や活用方法を多角的に学ぶ機会とします。
14	総合美術基礎演習4	芸術学部 美術科総合美術コース	ターナー色彩株式会社	2025.12.11	「画材との対話」をテーマに、偶然性を活かしたモダンテクニックや多様な画材の活用法を学びます。まずは技法と画材を探究し、自分だけの表現をまとめた「テクニックブック」を制作。その後、習得した技法を応用して平面作品を制作し、表現の幅を広げる力と発展的に展開する力を養います。
15	工芸素材基礎演習3	芸術学部 工芸デザイン学科	株式会社鈴木製作所	2025.8.20	デジタルテキスタイルの授業内で制作した、ジャガード生地／プリント生地を使用したバッグの制作をするために、生地の端処理をするロックミシンの使い方を学ぶ。縫製の基本であるロックミシンの使い方を身につけ、自身の制作したオリジナルのテキスタイルを製品として通用するようなクオリティーの高いものにすることを目指す。
16	プロダクトデザイン演習6：クラス54	デザイン工学部 プロダクトデザイン学科	株式会社保志	2025.9.29～2026.1.19	仏壇・仏具を製造販売している「アルテマイスター保志」と連携を行い、テーマに沿ったターゲットに向けてデザインを考え、デジタルファブリケーション機器の操作を習得しながら、製品レベルに近い品質のモデル制作・提案を行います。
17	卒業研究（プロダクトデザイン）：クラス 55	デザイン工学部 プロダクトデザイン学科	マツダ株式会社	2025.9.30～2026.1.13	メタバース空間制作、3Dデータの共有、現実イベントでの体験提供およびフィードバック収集等を通じて、研究活動の支援ならびに双方の知見向上を目的とします。
18	プロダクトデザイン演習 2	デザイン工学部 プロダクトデザイン学科	貝印株式会社	2025.9.29～11.24	製品デザインのプロセスを学ぶ演習です。新たな知識やスキルを学ぶ中で、プロダクトデザインの専門性に応じた基本的なデザインプロセスを実践します。
19	プロダクトデザイン演習 6：クラス 52	デザイン工学部 プロダクトデザイン学科	ソニーグループ株式会社クリエイティブセンター	2025.10.1～12.11	ソニーグループ株式会社の実際の製品などを観察しながら、2年次までに習得した能力を活かしてプロダクトデザインが形作られるプロセスを学ぶ。

20	ビジュアルデザイン実践2	デザイン工学部 グラフィックデザイン学科	TOPPAN株式会社	2025.11.4	パーソナル・アイデンティティ（P.I）の基本ツールである名刺の印刷現場を知り、レターヘッド、エンベロープなどのへの展開を含む、実践的なグラフィックデザインの技術を習得する。
----	--------------	-------------------------	------------	-----------	--